

# 終活 ~自分らしい幕引きのために~

4/4

## 墓地

# 生前に納得いく墓選び

●マンション型も定着

「元気なうちに納得のいく墓を準備したい」「残される家族に負担を掛けたくない」と、生前に墓選びをする人が増えている。さまざまなニーズに対応し、仙台圏でも墓地の様相が進んでいる。

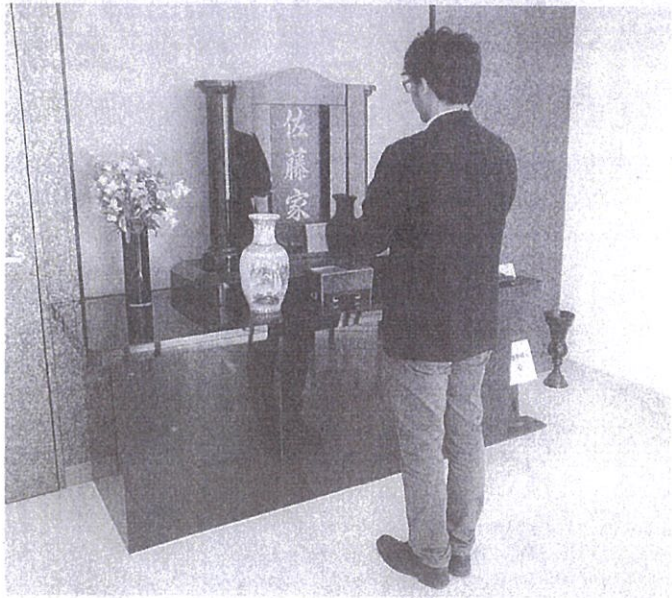
仙台市宮城野区にある経王寺の仙台納骨堂は、施設内に遺骨を保管し、個別に参拝できる「お墓のマンション」の申し込みを受け付けている。参拝者が入り口で専用カードを提示すると、部屋への案内表示が出る。部屋に入ると、墓石をかたどった液晶画面に家名や遺影、思い出の写真が映し出される。事前に伝えれば、遺骨の入った箱を職員が運んできてくれる。バリアフリー化され、天候に左右されず参拝できる。

青葉区の公益財団法人アタラシアが運営する、みやぎ霊園は世相を反映した墓地を提供する。2015年5月に夫婦用の有期限墓地「夫婦百年の墓」の受け付けを始めた。使用期間は10〜100年で使用料は53万〜約145万円。料金には、期間

1人用46万円(修繕積立費は年1万円)と夫婦用90万円(2万円)、家族用のスタンダード116万円(同)とプレミアム160万円(同)がある。仙台納骨堂の担当者は「利便性のある都市型のお墓と言える。受け付け開始から5年になるが、需要が増えている。墓じまいとして利用する人も多い。団塊の世代を中心に生前に契約する人が大半を占めている」と話す。

●将来的に永代供養

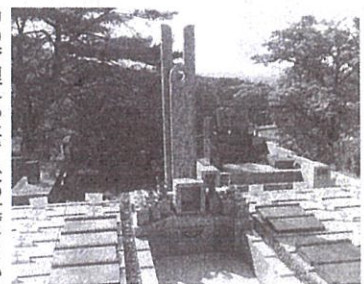
「お墓のマンション」は天候に左右されず参拝できる。墓石液晶画面があり、家名や遺影が映し出される＝仙台市宮城野区の仙台納骨堂



「お墓のマンション」は天候に左右されず参拝できる。墓石液晶画面があり、家名や遺影が映し出される＝仙台市宮城野区の仙台納骨堂



## ニーズに対応 多様化進む



有期限墓地「夫婦百年の墓」の共有型＝仙台市青葉区のみやぎ霊園

中の管理料や終了後の墓じまいの費用も含み、期間終了後に永代供養の合祀墓に移す。

3期計60区画は17年11月に契約が完了する人気ぶりだった。背景には家単位で墓を守っていくという意識の変化があるようだ。新区画の受け付けも検討されている。

現在は、中央にモニメント、香炉、花立てを置いた共用の参拝スペースがある「夫婦百年の墓」の共有型を受け付け中。左右に24区画ずつの集合型墓地を配置しており、これまでに17区画で契約が成立している。

使用期間は10年からで、10年単位で50年まで。使用料は10年が約42万円、50年が約77万円。同園は「墓の跡継ぎがないが、すぐに永代供養というのは抵抗がある」という夫婦に支持されている。需要は増えるだろう」と見通している。

また、同園は「ペットは家族」という考えから、東北で初めてペットと人間が一緒に入れる墓もつくった。1区画2・64平方メートルで、永代使用料は80万円、管理料は3年間で2万円弱。16年5月から申し込みを受け付け、ことし5月までに全65区画が埋まった。同園は「予想以上の反響だったが、次の受け付けは未定だ」と話している。